

乗務員教育記録簿用紙

西北交通株式会社

乗務員への指導・監督の記録

実施月日 令和8年7月24日

時 間 9時30分～11時00分

場 所 北上本店営業所

検
印

非公開

営業所名 北上本店営業所 矢巾営業所

非公開

【一般的な指導事項】

- ☐ ①事業用自動車を運転する心構え
- ☐ ②事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項
- ☐ ③事業用自動車の構造上の特性
- ☒ ④乗車中（運行中）の旅客の安全を確保（シートベルトの着用等）するために留意すべき事項
- ☐ ⑤旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項
- ☐ ⑥主として運行する経路若しくは、経路又は営業区域における道路及び交通の状況
- ☐ ⑦危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法
- ☐ ⑧運転者の運転適性に応じた安全運転の指導
- ☐ ⑨交通事故に関わる運転者の生理的（睡眠不足等）及び心理的要因並びにこれらへの対処方法
- ☐ ⑩健康管理の重要性
- ☐ ⑪安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法
- ☒ ⑫ヒヤリハット体験の報告や運転にかかる苦情の申し出、又は事故が発生した場合には当該運転者に対して
ドライブレコーダーにより必要な指導を行う
- ☒ ⑬⑫のドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリハット体験を共有する（警視庁及びYouTubeの記録画を使用した）
- ☐ ⑭非常信号用具、非常口、消火器の取り扱いの指導

指
導
の
内
容

※ 乗車中（運行中）の旅客の安全を確保（シートベルトの着用等）するために留意すべき事項

1 走行中の安全確保の方法（走行中の注意ポイント）

- ①車内マイクでそのつど注意を呼び掛ける ②車内ミラーで乗客の動きを把握しておこう
- ③危険予測を働かせ他車の動きを読む

2 安全な運転操作

- ①急発進や急な加速・減速はしない ②急なハンドル操作も厳禁 ③急ブレーキをしない
- ④安全な速度と十分な車間距離を保つ ⑤シートベルトの着用を徹底する

3 高齢者・障がい者の安全確保（高齢者や障がい者の不安心理を理解しておく）

- ①不安心理がある ②不安心理を取り除く接客を心がける

4 バスの性能を知って安全確保

- ①バスの性能を知ることが安全運転につながる ②スムーズな加速とギアチェンジ
- ③乗客に不快感を与えない発進と停止 ④駆動力と走行抵抗の関係
- ⑤摩擦係数が小さいと停止距離は長くなる ⑥安全な制動方法
- ⑦ブレーキをかけてから停止するまでの距離 ⑧制御できない「空転」・「滑走」
- ⑨バスは35度以上傾けば横転する ⑩慣性の法則 ⑪遠心力と求心力
- ⑫慣性の法則は乗客にも働く ⑬衝撃力は非常に大きい
- ⑭スピードや重量に比例して衝撃力は大きくなる

※ 車内事故防止対策として事例を基にヒヤリ・ハット研修、シートベルト着用の徹底

※ 梅雨時の安全運転について〔適切な車間距離の確保・異常気象時の対応〕

※ 7月の重点管理（夏場に多い危険を周知する）

【夏場の事故防止】無理はせず 早め早めの休憩を

- タイヤの状態をチェックする

裏面へ

指導・教育の内容	夏は高温によるタイヤの劣化からバーストの危険性が高まる。定期的にタイヤの状態をチェックして、不具合があれば早めに交換する。
	● 車内熱中症対策を立てる
	夏場は直射日光により、車内温度が高くなる。こまめな水分と塩分の補給、エアコンの活用など、車内熱中症対策を運転者に伝えておく。
	● 火災につながる物品を車内に放置しない
	モバイルバッテリーなど、高温にさらされることにより発火する恐れがある物品を車内に置かないよう運転者に注意を呼びかける。
	※「梅雨だる」七つの解消方法
	・朝起きたらカーテンを開けて光りを浴び、体内時計をリセット ・日中は意識して活動的に
	・雨や曇りでもカーテンを明け、部屋を明るくしましょう ・睡眠は充分にとる
	・きちんと朝食をとって活動モードに ・夜はぬるめのお湯にゆっくりつかり心身をリラックス
	・ウォーキング、ジョギング、雨ならストレッチなどの軽めの運動を習慣に

非公開